

週間漁海況情報 2021年第35号

令和3年9月7日発行

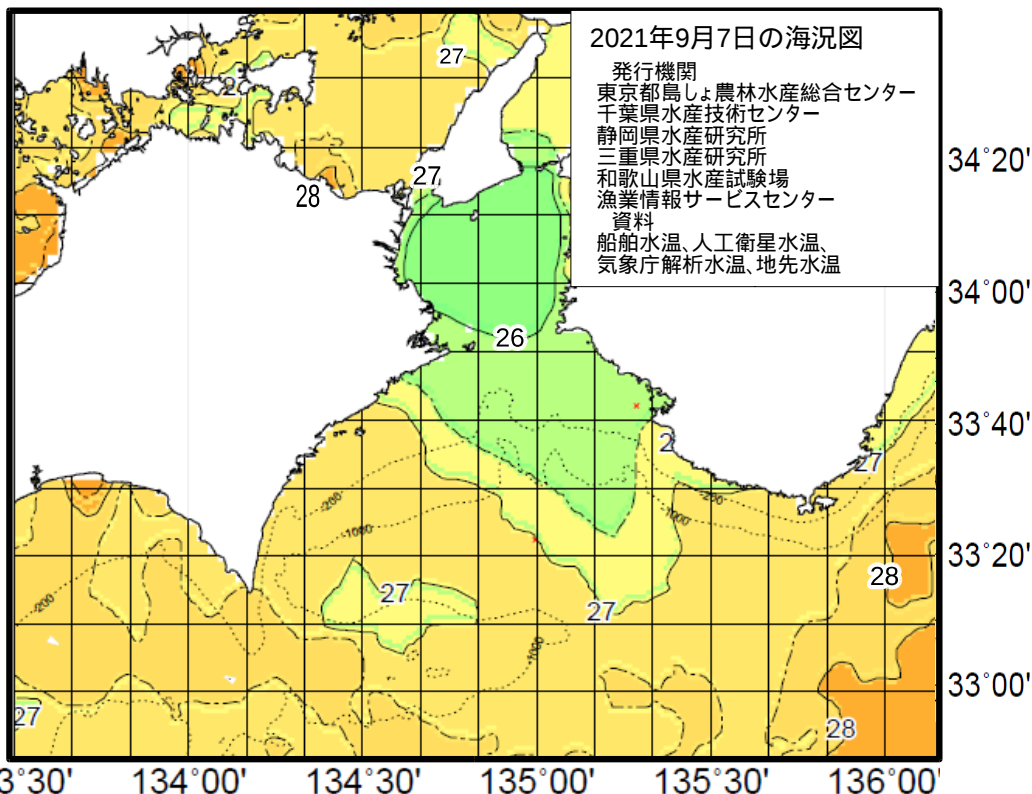
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖48マイル、潮岬沖93マイルを流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部沿岸海域への暖水波及は弱まり、紀伊水道より内海水が南下している。黒潮の表面水温は27, 28 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が27, 28 台、紀伊水道が25, 26 台、海部沿岸が26, 27 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

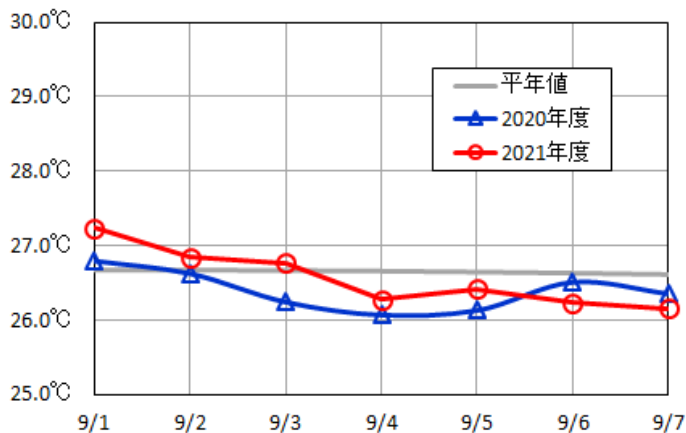
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~ 25NM やや離岸: 25 ~ 45NM 離岸: 45 ~ 65NM 著しく離岸: 65NM ~
潮岬沖 接岸: ~ 26NM やや離岸: 26 ~ 56NM 離岸: 56 ~ 86NM 著しく離岸: 86NM ~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

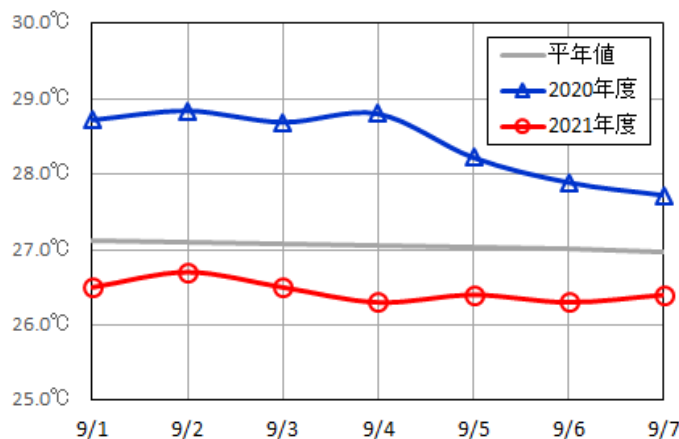
2. 地先水温(2021年9月1日~9月7日)

鳴門地区の水温は27.2~26.2 で「やや高め」から「平年並み」、日和佐地区は26.7~26.3 で「平年並み」から「やや低め」に上昇した。鳴門と日和佐地区の水温は-0.7~0.2 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上
平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月8日~9月14日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「平年並み」から「やや低め」に推移する見込み。

漁況 (8月30日～9月5日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく増えて300^ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが減って中主体に3.6^ト、タチウオが減って特大主体に0.2^ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが大きく減って0.2^ト、マアジが増えて小小主体に0.2^ト、マルアジが小主体に0.2^ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが減って中主体に3.8^ト、いとより類が大きく増えて小主体に0.4^ト、マダイが0.3^ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カンパチが大きく増えて0.2^ト水揚げされた。
 延縄では、アカムツが減って0.4^ト、うつぼ類が大きく増えて0.2^ト水揚げされた。
 小型定置網では、かます類が1.7^ト、マサバが小主体に1.6^ト、カンパチが1^ト、マアジが小小主体に0.9^ト、マルソウダが0.8^ト、メアジが0.3^ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	150	シラス	300,000	2,000		
	延縄	34	ハモ	3,628	107	中主体	
		32	タチウオ	216	7	特大主体	
	小型定置網	9	ブリ	238	26		
		16	マアジ	227	14	小小主体	
		14	マルアジ	204	15	小主体	
	底びき網	32	ハモ	3,794	119	中主体	
		25	いとより類	372	15	小主体	
		24	マダイ	280	12		
海部沿岸	釣り	30	カンパチ	208	7		
	延縄	20	アカムツ	353	18		
		3	うつぼ類	203	68		
	小型定置網	31	かます類	1,712	55		
		14	マサバ	1,571	112	小主体	
		33	カンパチ	955	29		→
		37	マアジ	889	24	小小主体	→
22		マルソウダ	760	35		→	
15	メアジ	259	17		→		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: